

(参考様式5)

平成23年度元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
三重県	大台町	大台町全域	H18～H22	H18～H21

1 施策ごとの評価

(1)ソフト

ア 施策の内容: 該当なし

イ 施策の実績

(コメント)

ウ 施策の効果

(コメント)

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

(2)ハード

ア 施策の内容: 耕作放棄地の防止

イ 施策等の実績

(ア)実施計画達成状況

(以下の様式を参考にして記述する。なお、事項欄には、地域計画に掲げた指標を設定するに当たり、施設等の種類ごとに実施計画を設定している場合、また、地域計画に掲げた指標以外に数値目標がある場合、それらを記述すること。)

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
里地棚田・自然 景観等の保全 推進	農林地利用・保全管理促 進施設整備	総合鳥獣被害防止施設	大台町	受益者
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
L=13, 835m	平成18年度	平成18年度	平成18年度	

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (21年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
耕作放棄の防止	%	100	100	100	100	

調査年次における実績が計画未達である場合の理由及び改善策(目標年度の報告において達成状況が著しく低い場合は、要領の第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。)

(イ)施設等の利用実績

施設等名(該当なし)

年次	室名	事項	計画	月別利用実績												利用率		
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		計	
		利用人数																
		利用日数																
		延べ利用室数																

- (注) 1 事項欄には、地域計画とともに作成した利用計画において使用した指標を記述する。
 2 調査年度における実績が計画未満である場合は、下段に理由及び改善策について記述すること。
 3 目標年度の報告において実績が計画を大幅に下回る場合は、第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。
 4 備考欄には、利用計画、利用実績それぞれの算出根拠を記載すること。
 5 都市農村交流を目的とする施設の場合は、「月別利用実績」欄の実績計の横に()書きで都市農村交流に関する実績を内数で記入し、利用率の算出は()書きの値を使用する。

ウ 施策の効果

(コメント)
 広域的に防護柵を設置・管理することによって、安定した収量が確保でき農地の耕作放棄防止に図ら

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

2 指標の達成状況に関する評価

	指標	目標値A	実績B	B/A	備考
必須	耕作放棄の防止	100.00%	100%	100%	
地域					

(コメント) ※目標が未達成となった指標については、その理由を記載

3 目標の達成状況に関する評価

(コメント)
 目標は達成されている。

4 総合評価

(コメント)
 地域が連携して防護柵を設置・管理することによって、地域内の活性化を図り、安定した収量が確保できることから、耕作者の耕作意欲の高まりと耕作放棄地の減少に繋がっている。

(都道府県の意見)

(コメント)

地域の連携による施設設置や維持管理が行われ、鳥獣による被害が減少して安定した収量が確保されたことにより、耕作放棄地の防止と共に地域の活性化が図られている。

(参考様式5)

平成23年度元気な地域づくり計画目標達成状況報告書

都道府県名	市町村名	地区名	計画期間	事業期間
三重県	大台町	長ヶ地区	H18～H22	H18～H21

1 施策ごとの評価

(1)ソフト

ア 施策の内容: 該当なし

イ 施策の実績

(コメント)

ウ 施策の効果

(コメント)

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

(2)ハード

ア 施策の内容: 農業生産の基盤の整備

イ 施策等の実績

(ア)実施計画達成状況

(以下の様式を参考にして記述する。なお、事項欄には、地域計画に掲げた指標を設定するに当たり、施設等の種類ごとに実施計画を設定している場合、また、地域計画に掲げた指標以外に数値目標がある場合、それらを記述すること。)

事業種類	事業内容	助成対象施設等	事業実施主体	管理主体
基盤整備促進	農業生産施設整備	農業用用水路	大台町	大台町
事業量	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日	
L=5.9km VU, VP φ75~300	平成18年度	平成21年度	平成22年4月1日	

事項	単位	計画時 (17年度)	目標値 (22年度) A	達成状況		備考
				実績値 B	達成率(%) B/A	
農業用用水施設の機能確保	ha	0	15.5	15.5	100	

調査年次における実績が計画未達である場合の理由及び改善策(目標年度の報告において達成状況が著しく低い場合は、要領の第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。)

(イ)施設等の利用実績

施設等名(該当なし)

年次	室名	事項	計画	月別利用実績												利用率	
				4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		計
		利用人数															
		利用日数															
		延べ利用室数															

- (注) 1 事項欄には、地域計画とともに作成した利用計画において使用した指標を記述する。
 2 調査年度における実績が計画未済である場合は、下段に理由及び改善策について記述すること。
 3 目標年度の報告において実績が計画を大幅に下回る場合は、第5の4の(1)に基づき作成した改善計画及び指導等の状況について添付して報告すること。
 4 備考欄には、利用計画、利用実績それぞれの算出根拠を記載すること。
 5 都市農村交流を目的とする施設の場合は、「月別利用実績」欄の実績計の横に()書きで都市農村交流に関する実績を内数で記入し、利用率の算出は()書きの値を使用する。

ウ 施策の効果

(コメント)

農業用用水施設の機能の確保ができ、水管理の省力化が図られている。

※ 施策の内容ごと、事業実施主体ごとに記載すること。

2 指標の達成状況に関する評価

	指標	目標値A	実績B	B/A	備考
必須	農業用用水施設の機能確保	15.5ha	15.5ha	100%	
地域	遊休農地なしの現状維持	0ha	0ha	100%	
	営農経費・維持管理費の節減	0.7	0.7	100%	
	担い手への農地利用集積	3%	4.6%	153%	

(コメント) ※目標が未達成となった指標については、その理由を記載

3 目標の達成状況に関する評価

(コメント)

目標は達成されている。

4 総合評価

(コメント)

用水施設整備より、安定した用水の確保ができ、農業経営における生産性の向上と営農経費・維持管理費の節減が図られ、担い手への農地利用集積も進んでいる。

(都道府県の意見)

(コメント)

事業実施により、必須の指標である用水路機能の確保が100%でき、安定した用水量による農業生産性の向上や、維持管理等の節減から、担い手への農地利用集積も目標を超える数値となっている。